

安倍政権と対決貫く

市民と野党の共闘

道理に立つ平和外交

情勢大激動、光る党の値打ち

京都から共産党躍進を

志位委員長迎え 2600人

参院選、統一地方選での共産党躍進をめざし、党京都府委員会は15日、志位和夫委員長を迎え京都市左京区の「みやこめっせ」で演説会を開きました。京都市内だけを対象にした演説会を同会場



で開くのは初めて。2600人が参加しました。比例代表・井上哲士参院議員、選挙区・倉林明子参院議員が決意表明、京都府・市議の予定候補が紹介され、代表が決意表明しました。こくた恵二衆院議員も参加しました。(写真は参院・統一地方選予定候補と志位委員長＝中央＝ら)

●志位委員長は「国内外とも希望ある変化をはらむ情勢の大激動が起きている」とし、その中で果たしている日本共産党の値打ちを縦横に語りました。

(1)安倍政権と厳しく対決を貫く党 「モリ・カケ疑惑」で独自に入手した文書で追及。安倍首相を徹底的に追い詰める。「国会でウソが許されるなら民主政治は成り立たない。首相が辞めるまで徹底的にやる」。

疑惑にフタをしたまま悪法の強行を狙う。国民の多数は反対しており、「会期延長許さず徹底審議で廃案に追い込もう」

(2)市民と野党の共闘をすすめる党 「なぜ安倍政権は倒れないのか」という問いに志位氏はズバリ「野党次第。野党が市民とともに大義の旗を掲げ、結束してたたかえば必ず倒せる」。その可能性を示したのが4月の京都府知事選と6月の新潟県知事選。国会内でも、憲法・原発・沖縄の分野でも野党共闘が前進。

党は総選挙で野党共闘を守り発展させてきた。「日本共産党を強く大きくする、日本共産党躍進の流れをつくることこそ共闘発展の保障」

(3)道理に立った平和外交で世界に働きかける党 史上初めての米朝首脳会談について「心から歓迎」と表明。否定的・懐疑的な見方について反論し、画期的意義を強調。

安倍政権の対話否定の立場は破綻。今からでも平和プロセス促進の立場に立ち、拉致問題も含め諸懸案を包括的に解決し、国交正常化を図ることを求める。

平和のプロセスが成功すれば日本の情勢も大変化。朝鮮半島、北東アジアに戦争の危険がなくなれば安保・在日米軍基地の存在が問われる。「安保条約をなくし本当の独立国と言える日本をつくらう」

滋賀県議補選

きのせ勝利へ清水前衆院議員応援

滋賀県知事選(24日投票)と同時選挙の県議補選(大津市)が15日告示され、日本共産党のきのせ明子氏(35)が立候補。自民新人、国民民主推薦の新人と定数1をめぐって争います。告示日には清水忠史前衆院議員が情勢の激動を語り、「安倍政権に厳しい審判を下す選挙に」と訴えました。

前進座公演「裏長屋騒動記」の成功へ藤川矢之輔さんが来所

前進座は10月に大阪・国立文楽劇場で映画監督・山田洋次さん監修・脚本の「裏長屋騒動記」を公演、党後援会近畿ブロック連絡会などは同7日(日)に観劇会を行います。俳優の藤川矢之輔さんが14日、近畿ブロック事務所を訪ね公演成功へ協力要請しました。矢之輔さんは魅力を語り、応じた清水忠史前衆院議員と林信一郎所長は「秋の貸し切り公演は初めてであり、後援会として成功に力を尽くしたい」と話しました。



18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 29(2018.6.16)